

主催：公益社団法人日本写真家協会
page2017 オープンイベント・「日本写真保存センター」セミナー

時代を記録した写真原板に光を！ —眠っていた写真原板を目覚めさせ、活用しよう—

いま、日々の暮らしや歴史的な出来事を撮影、記録したフィルム（写真原板）が劣化と散逸の危機に瀕しています。特に撮影者が物故されると、フィルムの保存は遺族にとって大変な重荷になっています。遺族のフィルムの保存状況をみると多くが常温のまま部屋の片隅に整理されないまま放置されていますが、わが国の高温多湿という気象条件は、フィルムの保存には適していません。郷土資料館や文書館などに寄贈されたフィルムも同様で、利活用されないまま眠っていることが多くあります。

日本写真保存センターでは、こうした眠っているフィルムを探し出して収集・保存し、歴史的・文化的な価値を有する写真画像を利用するにはどうすればよいか、を調査研究しています。

本セミナーでは、センターの研究成果を紹介し、写真原板の活用について考察します。また、会場では、資料保存関係各社のブースで、フィルムを長期保存するための包材(保存容器)を展示し、ご説明いたします。時代を記録した画像を甦らせ活用するために。この機会にぜひご参加ください。

日 時：2017年2月8日（水）13:30～16:30

会 場：池袋サンシャイン文化会館 7階

1 「日本写真保存センターの役割」

講師：松本徳彦（公益社団法人日本写真家協会副会長）

2 「写真原板の適切な保存」

講師：中川裕美（日本写真保存センター調査員）

3 「写真原板のデータベース」

講師：河原健一郎（日本写真保存センター調査員）

4 「写真原板データベースの価値について」（仮題）

講師：丸川雄三（国立民族学博物館先端人類科学研究所准教授、
日本写真保存センター諮問調査委員）

5 「保存に適した包材のデモンストレーション」

株コスモスインターナショナル、株資料保存器材、

株TT トレーディング（旧社名 特種紙商事株）、

PGI、ラーソン・ジュール・ニッポン株 ※50音順

定 員：100名（申込み順・定員に達した場合はご連絡します） 参 加 費：無料

申込先：FAXまたはe-mailで日本写真家協会事務局まで

申込期限：2017年1月31日（火）

Fax: 03-3265-7460 e-mail: info@jps.gr.jp

氏名 _____ e-mail _____

連絡先 〒 _____

電話 _____ Fax _____

*ご記入いただいた個人情報は、日本写真家協会が開催する研究会のご案内の目的のみに使用させていただきます。

*F a xでお申込みの際は、上記空欄に必要事項を記入し、ご送信ください。

公益社団法人**日本写真家協会**

〒102-0082 東京都千代田区一番町 25 番地 JCIIビル 303 TEL-3265-7451